

# 進行にそってグループで話し合おう～「城南大すき発表会」に向けて～

中心学習材 「わたしたちの学校行事」(光村図書3年上)

〈育てたい主となる能力〉  
 ◎互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合うこと。(話・聞オ)

〈単元を貫く言語活動〉  
 ◎グループで話し合う。

## 1 子どもと単元について

子どもたちは、「話すこと・聞くこと」の学習として、「よい聞き手になろう」では、話の中心に気を付けて聞き、自分の知っていることや経験とつなげて質問をしたり感想を述べたりする学習を行った。話し手は、「なぜ・なんのために・どのくらい」などをはっきりさせて話すことや、相手に分かりやすく伝えるために大切なことを学んだ。これらの学習を通して、子どもたちは、自分の伝えたいことをはっきりさせて話したり、友達の話に興味をもって聞き、質問をしたり感想を述べたりすることができるようになってきている。

本単元「進行に沿ってグループで話し合おう～『城南大すき発表会』に向けて～」は、発表会で発表する内容や方法を決める話し合いを通して、司会進行の仕方やグループでの話し合いを進める力を身に付けることをねらいとしている。学級全体による話し合い活動の前段階として、お互いの考えをよく聞き合い、進行に沿って話し合う力を身に付けさせるのに適した学習材である。学級や学校への所属感が高まっていくこの時期の児童にとって、学校生活に目を向け、自分たちの学校のよさや自分たちが頑張っていることを話題として取り上げ、話し合ったり発表したりすることも、価値がある活動である。

指導に当たっては、次の三つを大切にす。一つ目は、話し合って意見をまとめる方法を身に付けさせることである。そのために、発表会の目的「おじいさんやおばあさん、地域の方々に、現在の城南小学校の様子を知ってもらうこと」、話し合いの条件である「時間：1グループ5分の発表」「場所：教室」「内容：城南小学校のよいところや自分たちが頑張っていること」を明確にし、合意形成の際の拠り所とする。話し合いでは、互いの考えや理由の共通点や相違点に着目させる。まず、目的に合っている意見かどうか判断し、次に、条件を満たす意見かどうかで合意できるようにする。二つ目は、司会進行の役割や具体的な話し合いの進め方を身に付けさせることである。そのために、映像による話し合いのモデルを示し、司会進行役の話型や意見を述べる際の話型を理解させる。ロールプレイを取り入れ、それぞれの役割を経験する機会を多く設定して、話し合いを進める力の定着を図る。三つ目は、「発表会で城南小学校の様子を詳しく伝え、祖父母や地域の方々と交流したい」という意欲をもたせることである。そのために、単元導入の工夫をする。祖父母授業参観で、どんな様子を見てもらいたいと考えさせ、現在の城南小学校の様子を伝える発表会をすることを単元のゴールとして設定する。学校の様子は、特に学習や行事、さまざまな取り組みを想起させ、城南小学校のよいところや自分たちが頑張っていることを発表したいという意欲をもたせることができるようにする。「城南大すき発表会」では、祖父母から話を聞いて交流する場も設定することを知らせ、相手意識を明確にした発表内容となるようにさせる。これらの学習を通して、司会進行の仕方やグループでの話し合いを進める力を育て、今後の話し合い活動への意欲を高めていきたいと考える。

## 2 単元の指導目標

- 説明する内容や方法について進んで話し合い、発表をしようとしている。 【関心・意欲・態度】
- 発表会で発表する内容や方法について、互いの考えの共通点や相違点を考えながら、進行に沿って話し合うことができる。 【話すこと・聞くこと オ】
- 意見や理由を話す際に用いる言葉を知り、言葉の働きを意識することができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(ア)】

## 3 単元の評価規準

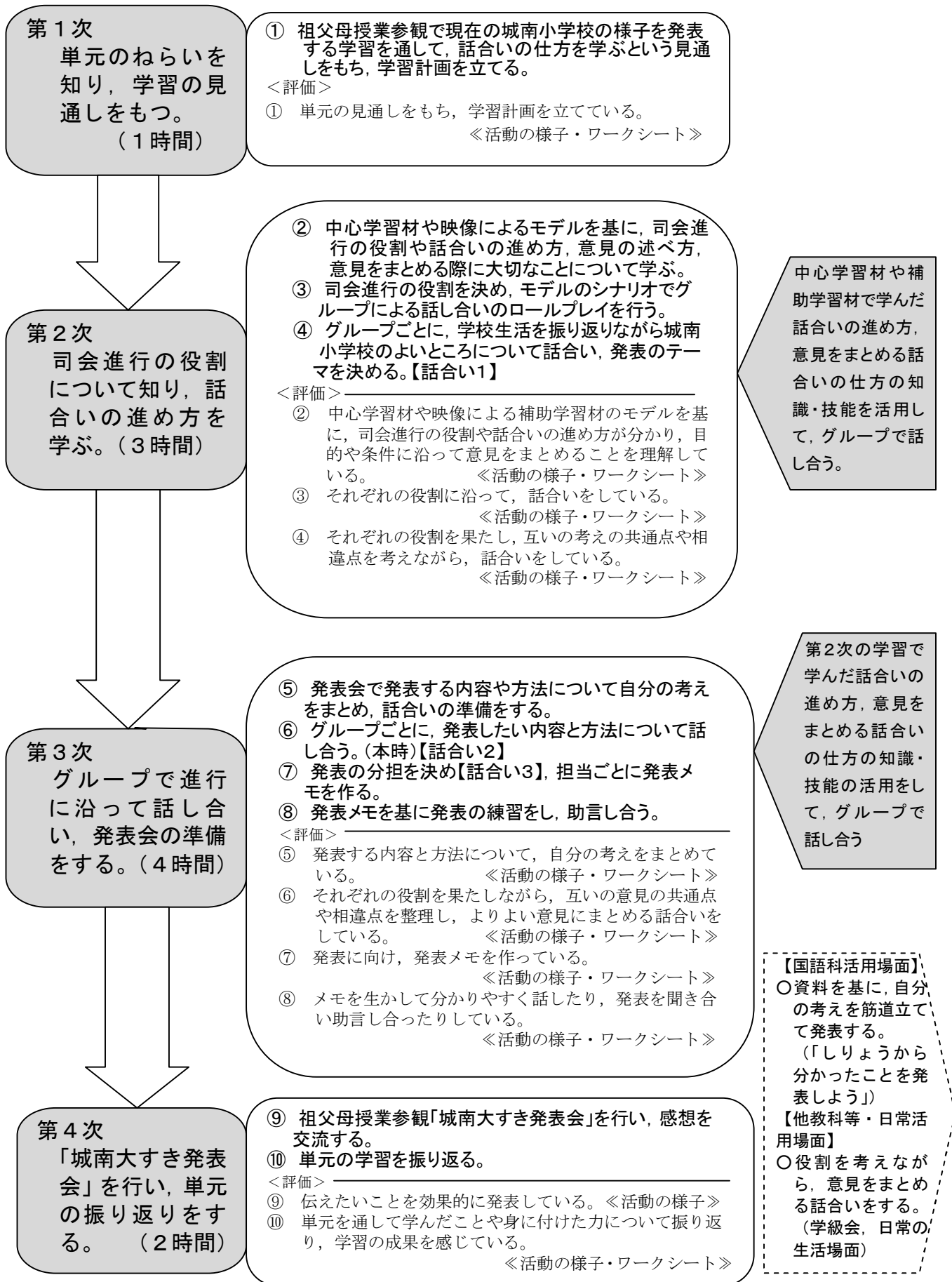
国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
○発表会で説明する内容や方法について進んで話し合い、発表をしようとしている。	◎発表会で発表する内容や方法について、司会進行の役割を果たしたり、進行に沿って自分の考えを明確にして意見や理由を述べたりしながら、グループで話し合っている。	○意見や理由を述べる際、司会進行の際に用いる言葉を知り、言葉の働きを意識して話したり聞いたりしている。

4 学習指導計画（全10時間）

【主な段階】

【主な学習活動】

【主な活用】



5 本時の指導

(1) ねらい

祖父母授業参観の「城南大すき発表会」で発表する内容や方法について、目的や条件に照らし合わせながら互いの考えや理由の共通点や相違点を考え、グループで話し合いをすることができる。

(2) 基礎的・基本的な知識・技能を活用する言語活動

前時までの学習で、中心学習材を基に司会進行の役割や話し合いの進め方、互いの考えや理由の共通点や相違点を考えながら話し合うことなど、話し合いで大切なことについて学習した。本時では、その知識・技能を生かし、4～5人のグループでの話し合いを進行に沿って進める学習を行う。

(1) 展開

学習活動	学習内容	指導の手立てと評価
<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <div data-bbox="204 539 839 613" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「城南大すき発表会」で発表する内容と方法について、理由に気をつけながら話し合おう。</p> </div> <p>2 本時の学習の見通しをもつ。</p>		<p>○学習計画に照らし合わせ、「城南大すき発表会」で発表する内容と方法について話し合うことを通して、グループでのよい話し合いの仕方を学ぶ学習であることを確認する。</p> <p>○次の点について確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話題「発表会の内容と方法」</li> <li>・ 発表会の目的、条件</li> <li>・ 意見の述べ方、司会進行の仕方</li> </ul>
<p>2 学習課題を解決する。</p> <p>(1) グループごとに、発表会で発表する内容と方法について話し合う。</p> <div data-bbox="496 790 895 1014" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○司会進行など、それぞれの役割を果たしながら、話し合いを進めること。</p> <p>○互いの考えの共通点や相違点を考えながら、目的や条件に照らし合わせて考えをまとめる話し合いをすること。</p> </div> <div data-bbox="528 1025 874 1330" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>《司会のたいせつ》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話題と話し合う手順をたしかめる。</li> <li>・ 発言者をしめいしたり、順番を決めたりする。</li> <li>・ ところどころで、出された意見をせいりする。</li> <li>・ 目的やじょうけんを思い出してもらおう。</li> </ul> </div> <div data-bbox="528 1346 874 1704" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>《話し合いのたいせつ》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 司会にしめいされてから話す。</li> <li>・ 自分の考えを先に言い、次に理由を言う。</li> <li>・ 友だちの意見と同じところ、ちがうところをはっきりさせて、意見を言う。</li> <li>・ 目的やじょうけんを考えて意見を言う。</li> </ul> </div> <p>(2) 話し合ったことを報告し合う。</p>		<p>○司会進行役の児童には、手引きを用意する。</p> <p>○グループごとにボードを準備し、自分の考えを書いた付箋を貼りながら発表させる。このボードを使うことにより、各々の考えや理由が一目で分かるようにさせたり、共通点や相違点をとらえやすくさせたりする。</p> <p>○内容が決まったグループは、方法について順次話し合うようにさせる。</p> <p>○話し合いの途中で、観点に沿って自己評価をさせ、次の話し合いで気を付けることを明らかにさせる。</p> <div data-bbox="911 1234 1422 1397" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>《評価》発表会で説明する内容や方法について、それぞれの役割を果たし、互いの考えの共通点や相違点を考えながら、目的や条件に応じて話し合っている。 【話し合い活動・ワークシート】</p> </div> <p>○話し合いが早く進んだグループには、発表の場をどのように設定するのか、実際に準備する物は何なのか、祖父母に分かりやすく効果的に説明するにはどうしたらよいかを考えさせる。</p>
<p>3 学習を振り返る。</p> <p>(1) 自己評価をする。</p> <p>(2) 振り返りを交流する。</p> <p>4 次時の学習について確認する。</p>		<p>○「考えの同じところやちがうところに気を付けて話し合うことができたか」「話し合いの仕方が分かったか」「これからがんばりたいこと」を観点として振り返らせ、身に付けた力を実感できるようにする。</p> <p>○次時は、発表の分担を決め、担当ごとに発表メモを作ることを確かめ、見通しをもたせる。</p>